

小学生版

あたらしい児童書

NO. 310 2025. 7. 20

遠軽町図書館
遠軽町大通南4丁目
TEL42-3632
FAX49-2102

本が見あたらないときは、かかりの人に聞いてね。予約もできます。新しい本は他にもあります。
小初は1・2年、小中は3・4年、小上は5・6年をめやすにしてください。

『地下室の日曜日 ゆめのこうきゅうマンションだ!』

村上 しいこ／作

・まんねん小学校の地下室には、おばけたちが住んでいる。外の世界を知りたい地下子さんは、雪女と一緒に地下室を出ていくことに。新しくできたマンションに住みたいというのだが、そこは3000万円もして…。
(小初)



『あおのいえ』 itou みく／作

・あおは小学1年生の男の子。両親を亡くしてから、お母さんの弟のなおくんと、なおくんのパートナーのしずさんと暮らしている。ある日、家に遊びにきた友達のお姉さんに、「あおくんちって、なんか複雑だね」と言われて…。
(小初)



『さいきょうのどろんこきょうだい』 キャレン・レヴィス／さく

・今日からお姉ちゃんになるゾウのイーニッドは、歓迎の歌を歌います。でも、生まれてきた弟のイーライは、前足が曲がったまま、なかなか立ち上がることができず…。実話をもとにした、信じあう家族の物語。
(小初)



『きいろいバス』 ローレン・ロング／作

・子どもたちを家から学校へ送迎する黄色いスクールバス。バスはよろこびにあふれていました。しかし時がたち、動かなくなったバスは置き去りにされ…。忘れ去られたバスが、ふたたび幸せに輝ける場所を見つける物語。
(小中)



『ラクダで塩をはこぶ道』 エリザベス・ズーノン／作

・貴重な塩をラクダにのせて、750キロ先の町トンプクトゥまで運ぶ、伝統的な砂漠の旅。キャラバンに参加できる年齢になった少年は、ラクダのラクマールに岩塩をつんで、はじめての旅に挑み…。
(小中)



『ふしぎ駄菓子屋銭天堂 吉凶通り 3』 廣嶋 玲子／作

・何者かの呪詛により眠りから覚めない紅子。善福書店の店主、二ツ頭善二が紅子のかわりに銭天堂を切り盛りすることになるのだが…。
「銭天堂」の臨時店主をはじめ「人気ニッキ」「真夜中の災い」など全7編を収録する。
(小中)



『りりかさんのぬいぐるみ診療所 しろくまピース』

かんの ゆうこ／作

・りりかさんは、壊れたぬいぐるみを治療する「りりかぬいぐるみ診療所」の院長。愛媛県立とべ動物園の飼育員・高市さんから、ホッキョクグマのピースが小さいときに気に入っていたぬいぐるみの治療を頼まれて…。
(小中)



『怪談十二月 冬 白い季節と黒い闇』 福井 蓮／著

・怖さのなかにも、もの悲しさやせつなさなど季節とリンクした情景を織りなしていく。「はじまりの椿」「雪影」「紅梅」「雛語り」など、現代の怖い話、時代物で構成した冬の怪談を収録する。(小中、小上)



『ぼくたちの卒業写真』 天川 栄人／作

・友だちのいない蔵木に、人気者の星野が「卒業アルバムの個人写真、もっと自由に撮らせてくれん?」と提案してきた。実家が卒業アルバムの制作を請け負う写真館で、自身もプロ並みの腕をもつ蔵木は、撮影を引き受けるが…。(小上)



『読書感想文が終わらない!』 額賀 滯／作

・夏休み、5人の少年少女たちは、小学校の図書館で読書感想文を助けてくれる救世主「フミちゃん」に出会い…。「書く」ことで、自分のほんとうの気持ちも見つけていく6人の物語。読書感想文の書き方もQ&A形式で解説。(小上)



『星の花』 濱野 京子／著

・湿原に春が訪れると、星の花と呼ばれる小さな花がいつせいに咲く。湿原のすぐそばに暮らす少女リシュの目は、光に弱く、いつも遮光眼鏡で覆われていた。その瞳が、いつか母の、そしてこの国の過去を開いていくとも知らず…。(小上、中)



『カトリと夜の底の主』 東 曜太郎／著

・奇妙な昔話を見つけたカトリと、事件を引き起こすふしぎな存在「星獣」について調べるリズ。ふたりの思惑は、小さな海辺の町で交差する…。19世紀後半のエディンバラを舞台に、謎を解きあかすミステリー。(小上、中)



『金色の切手とオードリーの秘密』 オンジャリ Q.ラウフ／作

・だれにも話せない家族の事情をかかえて、ひとり懸命に暮らしをつむいできたオードリー。だけど…。孤軍奮闘していたヤングケアラーの少女が、周囲や社会の助けを得て希望を見出していく物語。(小上、中)



『この世は生きる価値がある』 長谷川 まりる／作

・人間の世界を知らない「魂」は、中学2年生男子の体に飛び込み、季節がひとめぐりする間だけその子として生きること。最初はすべてがキラキラしていたけれど、人と交わるうちにどうしようもできない苦しさにも襲われ…。(小上、中、高)



『NO.6再会 #1』 あさの あつこ／著

・紫苑とネズミが「NO.6」を崩壊させてから2年。不安定な政情に悩んでいた紫苑は、ネズミの気配を近くに感じて…。(小上、中、高、般)

